



赤川ようじの 市政レポート

発行 赤川ようじ事務所 〒359-1151 埼玉県所沢市若狭3-2383-25
TEL. 04-2947-3967 FAX. 04-2947-3966

6月議会

今年は大雨対策、大丈夫か。土のうステーション設置。

昨年8月の台風の大雨の被害から1年を迎え、また台風の季節がやってきました。三ヶ島地区は市内でもっとも被害が多く、届け出があっただけでも床上浸水47件でした。三ヶ島地区に浸水被害が多い理由は、地形と砂川掘り、不老川に接していることが挙げられます。そのため、各所からの雨水が各市道の枡へ川から逆流するのです。この一年間市民から要望のあったところは、雨水枡の増設、清掃、土のうの準備を行ってきましたが、改めて市のこの1年間の対策と今後の備えを質しました。砂川掘りは自然の地形を維持し、改修工事を終え、不老川は上流の大森調節地の工事を県で行っており、河川の拡幅を含め、今年度から平成34年まで約83億円の工事を行っています。しかし最悪の場合は土のうで宅地を守るしかなく、今年6月に三ヶ島地区（若狭憩いの森公園、和ヶ原公園他）に特別に4箇所土のうステーションを設置しました、今まで同様、市の道路維持課へ電話いただければお届けしますが、昨年依頼が殺到して対応が遅れたケースもありましたのでステーションに取りに来られる方は備えをさせていただきたいと思います。今年もパトロールを行い、災害に備えます。よろしくをお願いします。



土のうステーション

北朝鮮ミサイル対策と所沢市 Jアラートの訓練実施

米国と北朝鮮の緊張関係の中、北朝鮮から日本海へミサイルが着弾しており、全国の多くの地域で非難訓練も行われています。所沢市も米軍通信基地を抱えて、米軍横田基地との関係でも弾道ミサイルのターゲットになる可能性があります。議会でそのリスクと非常時の対応について質しました。まず、所沢市がターゲットとなる場合、迎撃体制として、米軍または自衛隊のイージス艦から迎撃し、また入間基地などにある、パトリオットミサイル・PAC3でも2段階で迎撃します。日本のレーダーで察知された瞬間に、緊急サイレン後、Jアラート（全国瞬時警報システム）防災行政無線などで「ミサイル発射情報。ミサイル発射情報。ミサイル発射情報。当地域に着弾する可能性があります。室内に避難し、テレビ・ラジオをつけてください。」と放送されます。今のところ市として非難訓練の予定はありませんが、緊急速報メール、ところざわホットメールでも情報が流れます。Jアラートの訓練が今年の7月5日に行われます。これからも警戒していきます。

所沢市の若い世代の人口流出を抑えよ。

「所沢が埼玉の人口争奪選独り負けの理由」という記事がオンラインニュースで流れて話題になっています。人口の流れは所沢市へ平成26年の調査では転入先人口では多い順に、練馬区651人、入間市619人、狭山市598人となっています。一方、転出先については、入間市784人、狭山市699人、練馬区577人となっています。平成27年では結果転出超過が181人でその多くが若い世代です。所沢版総合戦略ではこの超過を平成31年のゼロのすることになっています。所沢市人口ビジョンでは「2060年の目標生産年齢人口（15歳～64歳）50%確保、年少人口割合の回復、人口27万人の維持」を目標にしています。そのためには流出の激しい、20代、30代の子育て世代の流出を抑え、流入を増やさなければなりません。そのための施策を質しました。まず若い世代を呼び込む、魅力あるブランド戦略としては、①COOL JAPAN FOREST 構想の推進②産業用地創出による産業振興③所沢駅周辺の開発とまちの活性化④水とみどりがつくるネットワークの構築を市は目指しています。具体的には「平成32年オープン予定の柵カドカワのさくらタウン構想、34年オープン予定の西武車両工場跡地の再開発・区画整理後の大型施設、三ヶ島工業団地・松郷工業団地・所沢インター周辺の産業誘致、トトロのふるさとの狭山丘陵の自然保全など現在市として進めています。

しかし子育て世代を呼び込みためには、「子育てしやすいまち」をつくらなければなりません。しかし、現在の所沢市の待機児数は22人で改善されてきていますが、学童クラブの待機児童は150人で、入間市5人、狭山市68人、川越市0人とくらべて非常に多くなっています。まず待機児・待機児童ゼロにする早急な対策をとらないと、若い世代の人口流出により所沢市の将来は、高齢化率の高い中（三ヶ島地区が一番）生産年齢人口が減り、超高齢化率が市の活力、コミュニティの活力が失われます。これからも若い世代に魅力あるまちを目指し訴えていきます。



ちょっとお知らせ

三ヶ島地区に防災備蓄タンク設置

東日本大震災の時、ライフラインを握る、ガソリン・灯油などの燃料が遮断され供給不足でまちが混乱したことは記憶に新しいところですが、所沢市にはこれまで非常時用に備蓄しているタンクがありませんでした。そこで民間の力を借り、すこしでも非常時に備える必要がありました。そこで三ヶ島4丁目に柵上田様と所沢市と防災協定を結び、新施設建設により、緊急時、公共目的を優先して燃料を供給に協力していただけることとなります。地元の方も緊急時にも便利になると思います。これからも防災に備えたまちづくりを目指します。

赤川ようじ 市政ホットライン

お気軽にあなたの市政に対する質問、要望をお寄せください。

TEL.04-2947-3967 FAX.04-2947-3966

E-mail tokorozawa@y-akagawa.jp URL <http://www.y-akagawa.jp>